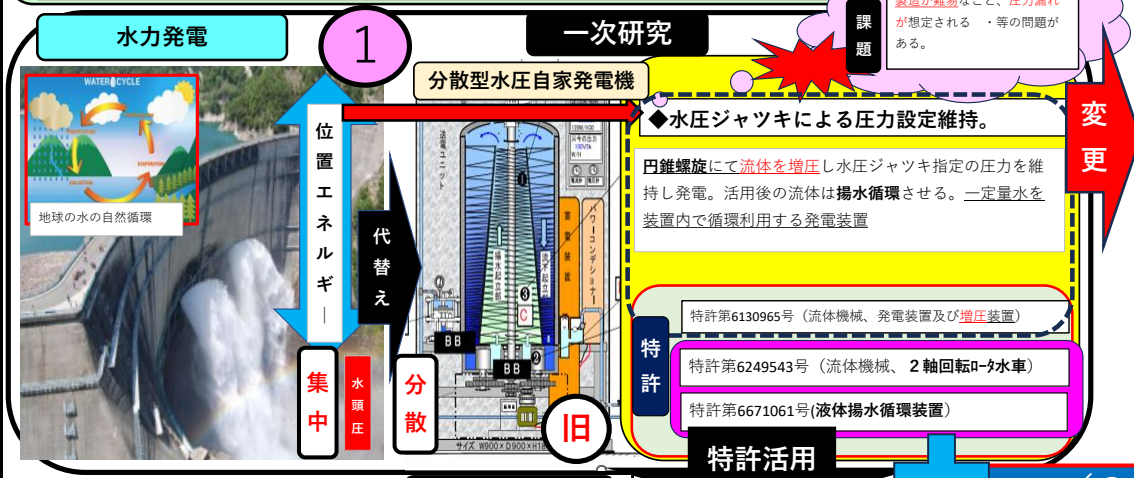


分散型水圧自家発電機を実現へのアイデア。一次研究は水力発電（集中）を分散してメカニクで実現できないか。特許3件取得するも断念。二次研究は、一次研究を断念した課題を解決すべく、**3Dプリンターや遠心力**の活用を研究。遠心力は、回転する速度の2乗に比例し、回転半径の長さに反比例する。この遠心力（みかけの力）を外部に取り出し活用させることはできていない。今回の発明は、**一次研究の成果**である、2軸回転ロータ水車と液体揚水循環の考え方を活用し、全て自然エネルギーで継続した発電を可能にした。4ブロックに分けてアイデアを説明。**①一次研究の分散型水圧自家発電機。②は技術進歩と遠心力の活用。③は二次研究の課題と対応。④は二次研究成果の新・方式の水圧発電。**

水圧発電 実現への アイデア（一次研究→二次研究）

地球の水の自然循環による水力発電を **メカニクで都市部可能にするには??**（増圧方法？ 流体の装置内還流方法？）



2 遠心力を活用

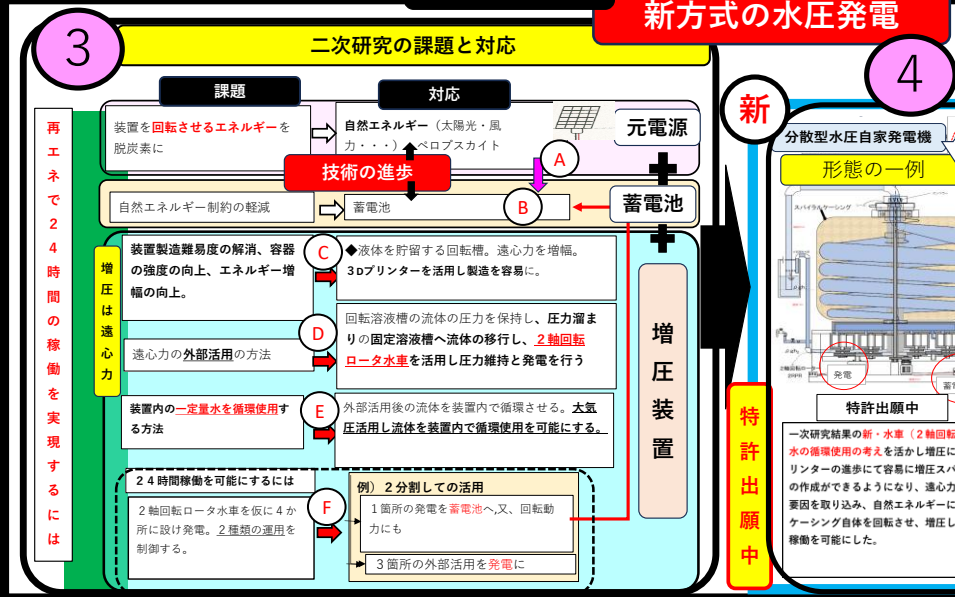
技術進歩: 3Dプリンターの進化
トラス状の円錐螺旋管路や円柱溶液槽、複雑な形態を容易に制作可能に。

事例: 遠心分離機
一般的な用途では2000G~4000G、医療分野などでは10000G以上の遠心力を発生させるケースもあります。一般的な用途でも、**重力の2000~4000倍の力を発生**させていることになります。

遠心力鍛造: 円筒型の型を高速回転させた状態で溶融させた金属を流し込み、回転の遠心力を利用して加圧し、パイプを製造する方法

遠心力で増大させたエネルギーを使用して、継続的な発電が可能にならないか？

二次研究 (3Dプリンターと遠心力の活用)



4 分散型水圧自家発電機

分散型水圧自家発電機は、**自然エネルギー**を元電源として蓄電池を併設。モータで溶液槽を回転させ発生する、**遠心力（みかけの力）**を増幅し外部活用を可能にし発電する。活用後の流体は装置内で循環させ、増幅したエネルギーの一部を蓄電や装置稼働エネルギーにも使用し、**自然制約（太陽光・風量・・・）を克服し、再生可能エネルギーの継続稼働を可能にする。**

